

#### 4. 外部評価委員会による意見

##### 【学校給食の充実】

- 地産地消の推進、有機バナナの提供、世界の料理を取り入れた献立の提供など、本当に様々な取組をされていて素晴らしいと思う。長年に渡り取組をされており、今後も続けていってほしい。

##### 【いじめ・不登校などへの対応】

- 令和3年度の変更点のところで、「いじめ防止ハンドブック」の見直しとあるが、どのような見直しをしたのか教えていただきたい。

(市の取組状況等)

冊子「いじめのない学校・学級づくり！」を改訂した。いじめを防ぐためにということで、これは不登校対策にもつながる内容の取組にもなるが、未然防止や早期発見に関する事例内容の見直しや、いじめについてのQ&Aの内容を増やすことで、より学校、学級で使いやすいものに改訂した。

##### 【教育の情報化推進】

- タブレットの導入について、高校でもタブレットを導入しているが、今回小中学校で導入されて、困っている点等があれば教えていただきたい。

(市の取組状況等)

タブレットの活用を始めて2年目に入るが、1つ目は教員用のタブレットの確保が課題として挙がっている。非常勤講師を含めると教員全員に行き渡るのが難しく、教材研究を共有して進めていかなければいけないというところで、効率的に使いづらいということが課題である。2つ目は、故障した場合の対応である。修理期間が10日程度かかり、その間は予備機を使用するが、故障の台数が増えると、代替機が用意できない場合がある。3つ目は、効果を意識した活用をどのように進めていくかということである。小学校低学年であれば文字を書く、紙をめくるといった活動が非常に大切になってくるが、そういったところでICT活用能力を高めていくにはどうしたら良いかということが課題と考えている。

### 【教育の情報化推進】

- ロシアのウクライナ侵攻では、ロシアとウクライナの発表では内容が食い違っていることがある。また安倍元首相が銃撃された事件も、犯罪者に同情的な意見もあるが、そのような情報をどう判断したら良いか、学校では子どもたちにどのように指導されているのか教えていただきたい。

(市の取組状況等)

情報の取捨選択、情報を個人の中でどのように取り扱っていくのかということについては大きな課題であり、確かな力を子どもたちに身に付けさせていかなければいけないと思っている。数年前から子どもたちがスマホを頻繁に扱うようになり、それに応じてトラブルも発生している。このため、学校ではスマホ安全教室を開催して、情報の取扱いや情報の取扱いを間違えた時の危険性について指導している。今回、タブレットPCを導入し、より身近に多くの情報を取り入れることができるようになってきているので、各学校でより意識を高めていきたいと考えている。

- 情報をすべて制限するのではなく、見て判断できるように指導してほしい。
- 小学生の子どもがいるが、タブレットPCにとっても興味を持ち、今まで以上に学校での活動を話してくれる。読み書きも大事だと思うが、これからの時代はタブレットPC等の活用もすごく大事だと思うので、上手くバランスを取りながら進めていただけたらと考えている。
- 令和3年度にタブレットで非常に効果的であった、新しい試みができたという点があったら教えていただきたい。

(市の取組状況等)

教員側からすると、オンライン会議がとてもやりやすくなり、今まで出張に時間をかけていた分を効果的に会議ができるようになったことによって働き方改革につながる面があると思う。また、児童・生徒の健康観察やアンケートといったものも、手集計で計算していたものが、アプリを使うと一瞬で結果が出てくるので、そのような面でも効果的な活用につながっていると考えている。

**【教員の多忙化解消の推進】**

- スクールサポートスタッフを8名配置したことで、非常に効果があったということだが、今後、小中規模校にも配置していくのか教えていただきたい。

(市の取組状況等)

今年度も8名から16名に増やしているが、令和5年度も学校教育課としては増やしていきたいと考えている。

- スクールサポートスタッフの配置などによって、教員の多忙化を是非解消していただきたい。校務支援システムを導入されているとのことだが、先生方の作業の標準化をより積極的に進めていただきたい。校務支援システムの対象を増やして、教員の多忙化を解消していただきたいと考えている。

**【文化・芸術の振興】【文化財保護】**

- コロナ禍の影響によって文化・芸術の振興、伝統芸能の継承などが2年3年のブランクで難しくなっているが、いろいろ工夫されているということで、大事なことだと思っているので、引き続きお願いします。

**【図書館資料の充実】**

- 図書購入費が令和3年度は減額されたということで、令和4年度も同様となるのか教えていただきたい。電子図書等の資料購入を充実させるので図書資料の購入費は減額されたということでしょうか。図書館の利用促進事業もされているので、あまり購入費用が減らないようにしてほしい。

(市の取組状況等)

令和3年度の図書購入費は実際に減額となったが、令和4年度はその分を電子図書館資料の購入に充てるということで、総額として令和2年度の金額となっている。今後は維持をしていきたいと考えている。

## 5. 委員長総評

令和3年度教育委員会自己点検・評価について、31施策83事業が計画に沿ってほぼ順調に実施されたことを確認した。一部の事業については、コロナ禍での対応のため、中止や変更を行ったが、さまざまな工夫により、最大限の実施が図られた。

学校施設整備事業としての小中学校へのエアコン整備について、令和3年度は小学校の音楽室への設置が完了し、全小・中学校の普通教室、音楽室への設置が完了した。夏季の猛暑傾向が続くなかで、児童生徒の安全を守り、快適な学校生活を維持し、学習成果を保証するための重要な対応である。今後、他の特別教室や学校施設についても、施設整備の促進が望まれる。

また、教育の情報化推進について、タブレットPCの児童生徒1人1台配備完了を受けて、こうした設備を活用した情報教育推進事業が本格的に進められている。授業や学習支援での意欲的な活用も開始されている。今後の課題として、非常勤講師も含めた教員用機器の整備や教室内外で活用できる学習コンテンツ等の充実が期待される。

学校給食について、令和2年度策定の「稲沢市給食基本計画」に基づいた取組を推進している。令和3年度はコロナ禍であっても、計画どおり学校給食を実施することができた。給食設備の更新の進行とともに、さらなる給食の充実を期待したい。

学校教育の関連施策として、児童・生徒の適応支援事業、特別支援教育推進事業、少人数指導推進事業等では必要な施設・設備と人員配置の充実が図られ、効果を上げている。教員の多忙化解消の推進については、校務支援システムやスクール・サポート・スタッフの一層の活用により、教員が一人ひとりの子どもに丁寧に関わりながら、質の高い授業や個に応じた指導が実現されることが期待される。

生涯学習について、令和3年度はコロナ禍においても、安全に配慮して、できる限り各事業を実施・継続する工夫が行われ、成果を上げている。スポーツ振興については、多くの施設が改修・更新の時期を迎えているが、施設の改修は実施計画に基づいて着実に進められている。総合型地域スポーツクラブの活動等によるスポーツの普及振興、各種団体の育成・充実、スポーツ振興基金の運営により、市民の健康増進や競技力の向上を図っている。図書館、美術館においては各年代の市民に向けてサービスの維持・充実が図られ、大学等との連携事業も積極的に進められている。

生涯学習およびスポーツに関するイベントや図書館、美術館における企画が計画に沿って開催実施されることが重要である。令和3年度に行われた開催実施に向けての試行錯誤の経験を今後にしかし、「新しい生活様式」に沿った実施方法を継続して検討していくことが重要である。

以上、令和3年度の自己点検・評価を受けて、令和4年度の教育委員会の31施策86事業がより実効性をもち、教育を通して市民生活の一層の充実につながることを期待される。

## 6. 稲沢市教育委員会外部評価委員会委員名簿

	役 職 等	氏名
委員長	名古屋文理大学副学長	山田 ゆかり
副委員長	愛知文教女子短期大学教授	祢宜 佐統美
委員	愛知県立稲沢高等学校長	山本 真由美
委員	稲沢市小中学校PTA連絡協議会母親代表	伊藤 香奈
委員	稲沢市まちづくり連絡協議会会計	川口 重幸



令和3年度  
教育委員会の自己点検・評価報告書

---

令和4年8月発行

編集・発行 稲沢市教育委員会  
〒492-8269 稲沢市稲府町1番地  
電 話 0587-32-1435(庶務課ダイヤルイン)  
F A X 0587-32-1196